

e-Learning 運営委員会

平成21年度

第1回 平成22年 3月25日(木)



第1回 ICT 活用教材作成講習会

第1回 e-Learning 運営委員会

1 日 時 平成22年3月25日(木) 15:00~17:00

2 場 所 岡山理科大学 第11号館 5階 実習室

3 参加者 e-Learning 運営委員

4 ICT 活用教材作成講習会

- ・「学習管理システム“MOMOTARO”について」
大西 荘一 氏 (総合情報学部情報科学科)
- ・「VOD コンテンツ作成と運用について」
西崎 書彦 氏 (図書館資料情報課)

5 委員自己紹介

6 議題案

(1) VOD 型 e-Learning 計画について

- ・岡山オルガノン事業における e-Learning の提供方式について
- ・平成22年度の配信科目について
- ・ライブ型遠隔授業および VOD 型 e-Learning の単位認定について
- ・VOD 型 e-Learning の運用について
- ・連携取組における機器・通信に関するランニング経費について

(2) その他の事項について

- ・著作物の取扱いについて
- ・「科学 Try アンデル岡山」の VOD コンテンツについて

7 e-Learning 運営委員会出席者一覧

大学名	職名	氏名	出欠
岡山大学	教育開発センター	天 野 憲 樹	出
	教育開発センター	長 瀧 寛 之	出
	岡山大学オフィス 事務補佐員	小 林 祐 也	出
岡山県立大学	教授	子野日 俊 夫	出
	事務局主任	太 田 伸 二	出
岡山学院大学	講師	竹 中 一 平	出
岡山商科大学	情報教育センター長	小松原 実	出
	岡山商科大学オフィス コーディネーター	矢 延 里 織	出
岡山理科大学	情報科学科教授	木 村 宏	出
	建築学科教授	竹 内 涉	出
	情報科学科教授	大 西 荘 一	出
	情報科学科准教授	河 野 敏 行	欠
	情報科学科教授	榊 原 道 夫	出
	情報処理センター	田 坂 仁 昭	欠
	図書館資料情報課	西 崎 書 彦	出
	教務部次長	井 元 敏 夫	出
	教務課長兼学事課長	三 川 博	欠
	大学教育連携センター コーディネーター	佐 藤 大 介	出
川崎医科大学	准教授	虫 明 基	出
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出
	講 師	小 池 大 介	出
環太平洋大学	講師	熊 田 岐 子	出
	情報センター長	星 野 太 一 郎	出
吉備国際大学	准教授	高 木 秀 明	出
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部教授	村 山 公 保	出
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出
山陽学園大学	講師	小 林 伸 行	出
就実大学	教授	渡 辺 雅 彦	出
	係長	矢 吹 優 子	出
	事務員	岸 本 京 子	出
中国学園大学			欠
ノートルダム清心女子大学	情報機器教育等支援センター長	水 野 博	出

第1回e-Learning運営委員会 議事録（案）

日 時：平成22年3月25日（木）16：00～17：00

場 所：岡山理科大学 第11号館 5階 実習室

出席者：4ページ別紙参照

議 案：

1. 委員自己紹介

出席者による自己紹介を行った。

2. 議長の選出について

佐藤コーディネーターより、竹内副センター長を議長に推薦したい旨の提案があり、提案どおり了承された。

3. VOD型e-Learning計画について

佐藤コーディネーターより、「資料1」に基づき以下の説明がなされ、了承された。

（1）岡山オルガノン事業におけるe-Learningの提供方式について

①ライブ方式（双方向コンテンツ委員会にて所掌）

- ・全連携校に同一のHD対応テレビ会議システムを導入し、IP-VPNで相互に接続し、同時双方向の授業を受・配信する。
- ・複数大学でライブ方式の授業を行う場合、時間割の調整が必要となるので、連携大学間で協議が必要である。
- ・現在のシステムで配信できるのは5地点まで(カスケード接続を使用すれば10地点まで)のため、次年度前期に15地点接続が可能になる多地点接続装置を導入予定である。

②VOD方式（e-Learning運営委員会にて所掌）

- ・単位互換教育の活性化と、地域に根ざした教育の共有化に必要な仕組みとして、インターネットを用いた遠隔授業システム(VOD方式によるe-Learningシステム)を導入する。
- ・現在「まなびオルガノン」のサイト構築に向けて準備を進めており、学習管理システムの設置・調整は年度内に完了する予定であるが、配信科目がまだ決定していないため配信は次年度後期からを考えている。

（2）平成22年度の配信科目について

①テレビ会議システムを用いたライブ型遠隔授業

- ・平成22年度提供科目については、既に決定しており、試験配信等現在も繰り返し実施し、4月からの運用を目指している。平成23年度提供科目は、今後双方向コンテンツ委員会で検討する。

②VOD方式e-Learning

- ・平成22年度の配信科目については、加計コンソーシアムのサイバーキャンパスから借用する方向で検討している。
- ・平成23年度の配信科目として、岡山理科大学からはJNSA（日本ネットワークセキュリティ協会）からの情報セキュリティや著作権に関する入門科目の提供が検討されている。

- ・VOD 科目は各連携大学から 1 ないし 2 科目程度を提供いただき、単位互換科目として受講可能にする予定である。平成 22 年度 6 科目程度作成（平成 23 年度配信）、平成 23 年度 9 科目程度作成（平成 24 年度配信）を考えている。

(3) ライブ型遠隔授業およびVOD型e-Learningの単位認定について

- ・大学コンソーシアムで運用している「『大学コンソーシアム岡山』参加大学相互間の単位互換に関する協定書」を本事業でも利用する方向で同意書を作成して連携大学に送付しており、年度内には全連携大学の同意が得られる予定である。
- ・資料 12 ページの「単位互換に関する履修手続きフローチャート（VOD 型 e-Learning）」について、履修願は受入大学の教務でまとめて履修生名簿をセンターに提出、センターで一括して学生アカウントを発行する流れを考えている。
- ・長瀧委員より、フローチャートでは授業科目担当教員が VOD コンテンツ作成・授業配信となっているが、具体的に何をすればよいのかという質問があり、大西委員より、VOD コンテンツのアップロードはセンターで行うので、授業撮影後、特に作業をお願いすることはないと回答がなされた。

(4) VOD型e-Learningの運用について

- ・VOD コンテンツ教材は、「通常の対面型教育を録画・編集したもの」および「別途講義を収録し PPT 資料等と合成・編集したもの」を利用する。VOD コンテンツの作成は大学教育連携センターにてコンテンツ作成用撮影編集機材一式を購入しており、e-Learning 専門スタッフが作成することを検討している。
- ・インターネットに接続されており、Internet Explorer および Windows Media Player が実装されているパソコンが必要である。パソコンの導入を申請した連携大学は、導入するパソコンのインターネット接続経費を負担する。
- ・岡山理科大学が開発した学習管理システム“MOMOTARO”を導入するサーバーやソフトウェアの設置・管理を外部委託し、岡山オルガノン専用サーバー上で運用する。
- ・専用のホームページ“まなびオルガノン” (<http://manabi-organon.jp>) に各大学の写真を掲載したいので、写真データを早急にセンターまで送付いただくよう依頼がなされた。
- ・VOD 型 e-Learning を円滑に進めるため、大学教育連携センターに e-Learning 専門スタッフを配置する。
- ・連携校教職員に対して ICT 教材の活用や作成に関する講習会を開き、多様な形態による教育の提供について理解を深め、その必要性について学習してもらう。

(5) 連携取組における機器・通信に関するランニング経費について

- ・連携取組における機器・通信に関する経費として、補助期間中はフレッツサービスの月額利用料金、フレッツ・グループの月額利用料金、学習管理システム（400 ユーザーライセンス）の月額利用料金、以上 3 つの合計金額を各大学に均等割しご負担いただくことになる。

3. その他の事項について

(1) 著作物の取扱いについて

佐藤コーディネーターより、著作物の取扱いについて、ご意見をいただきたい旨の提案が

なされた。

(2) 「科学Tryアングル岡山」のVODコンテンツについて

木村センター長より、以下の説明がなされ、了承された。

- ・岡山大学が代表校である戦略 GP「科学 Try アングル岡山」でも独自で VOD 作成・配信事業を行っているが、補助事業期間が平成 22 年度で終了するため、科学 Try アングルのコンテンツをオルガノンのサーバーに移して配信してほしいという依頼が来ている。平成 23 年度の 1 年間について、科学 Try アングルの 3 大学 1 高専だけのサイトとして利用してよいか各大学で意見をまとめてほしい。センターとしては、代表者委員会でこの要望を受けるかどうか議題とする予定である。
- ・今回の VOD については学生が単位取得できる科目配信を中心に行っているが、昨年度 11 月 29 日に開催した岡山オルガノン設立記念シンポジウム等の映像もこのサーバーを利用し、県下の高等教育機関などへ提供しようと考えている。科学 Try アングルのコンテンツもそういう形で提供されるのであれば移行可能だろうと考えている。
- ・先生の講義資料を学生がダウンロードできるサイト、あるいは学生がレポートを提出できるサイト等も構築できるので、今後そういう使い方も検討していきたい。

出席者一覧

大 学 名	職 名	氏 名	出 欠
岡山大学	教育開発センター	天 野 憲 樹	出席
	教育開発センター	長 瀧 寛 之	出席
	岡山大学オフィス 事務補佐員	小 林 祐 也	出席
岡山県立大学	教授	子野日 俊 夫	出席
	事務局主任	太 田 伸 二	欠席
岡山学院大学	講師	竹 中 一 平	出席
岡山商科大学	情報教育センター長	小松原 実	出席
	岡山商科大学オフィス コーディネーター	矢 延 里 織	出席
岡山理科大学	情報科学科教授	木 村 宏	出席
	建築学科教授	竹 内 涉	出席
	情報科学科教授	大 西 荘 一	出席
	情報科学科准教授	河 野 敏 行	欠席
	情報科学科教授	榊 原 道 夫	出席
	情報処理センター	田 坂 仁 昭	欠席
	図書館資料情報課	西 崎 書 彦	出席
	教務部次長	井 元 敏 夫	出席
	教務課長兼学事課長	三 川 博	欠席
	大学教育連携センター コーディネーター	佐 藤 大 介	出席
川崎医科大学	准教授	虫 明 基	出席
川崎医療福祉大学	副学長	安 藤 正 人	出席
	講 師	小 池 大 介	出席
環太平洋大学	講師	熊 田 岐 子	出席
	情報センター長	星 野 太 一 郎	出席
吉備国際大学	准教授	高 木 秀 明	出席
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部教授	村 山 公 保	出席
くらしき作陽大学	音楽学部教授	加 藤 充 美	出席
山陽学園大学	講師	小 林 伸 行	出席
就実大学	教授	渡 辺 雅 彦	出席
	係長	矢 吹 優 子	出席
	事務員	岸 本 京 子	出席
中国学園大学			欠席
ノートルダム清心女子大学	情報機器教育等支援センター長	水 野 博	出席